

実施日時 令和6年12月16日(月)

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

田村先生のお話を伺い、SDGsの必要性和身近にある誰にでもできるもの(難しく考え過ぎずに)であると矢口することができました。

SDGsの社会的取組み、国連と日本福祉関係(質の方は国のくみを優先順位で考える)、MDGs(8つの目標)からSDGsへの移行(途上国だけではなく、全世界がより多角的な課題に取り組む17の目標を2030年までに目指す)、SDGsの本質(世界の在りようそのものを変革(トランスフォーメーション)と手段、脱炭素(CO2を出来るだけ出さない)とカーボンニュートラル(出した分を何とかゼロにする)の違い、ノーバーレス効果等々の幅広い学びを得ました。

さらに、福祉の中の“平等と公平”のお話の中で、平等は全員に同じものを提供することを目指す、公平は全員が同じ結果や生活の質を得ることを目指すが、公平の「一人ひとりの利用者のADL<sup>(生活の質)</sup>維持向上を奮うことがないように」との“平等と公平”のアプローチの違いを、肝に銘じて置くことを理解します。

最後に、田村先生からの、「これまでに学んだことを忘れないでほしい。」「時折、自分よがりになっていないかを振り返り確認してほしい。」とのお言葉が印象に残りました。

このお言葉を心に留め、これから介護職の一員として歩んで行くにあたり、相手に対して、自分がどのように寄り添い、何かできるのかを意識して、笑顔をお忘れずに向き合っていきます。ありがとうございました。

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

「SDGs」最近よく耳にしますが、遠い世界の事のように聞かえ  
聞き流してききました。

しかし、1人1人ができる事から始め、1つ1つ考えながら行動する事が  
世界のために、そして自分のためになると思うと、行なえるように思いました。  
まずは戦争・紛争をやめて欲しい。

私達はちいさな事から、世界のトップは争いを止める事から  
始めなくては、と思いました。

今私がやろうと思っているのは食品ロスを減らす事  
そして、無駄な物は買わない事

ソーラーもやってみたいと思います

これから世界が地球を破壊しないように努力する事が  
大切だと思います。

実施日時 令和6年12月16日(月)

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

講座を受講して SDGSの前にはMDGSがあったことを知りました。

SDGSは南の国々にはあまりなじみがない内容や17の項目に

なじみがないことも知りませんでした。

項目がバラバラで、どの項目に当てはまるかが難しいと感じました。

それぞれの国々のアクション・プランがあること自体興味はありますが、

これもSDGSに当てはまるか、わかりませんでした。

また、各々のアクション・プランが、どの項目に当てはまるかがわかりません。

わかりやすく、自分のアクション・プランに当てはまるか、わかりやすく

取り組む気持ちをも意識して、行いやすいものか、かかると思いました。

日々の個人の小さな一歩一歩の取り組みが大事だと感じました。

実施日時 令和6年12月16日(月)

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

特別講座をして頂きありがとうございました。

脱炭素 SDGs について学び 色々な宣言をされIT化に取り組みを行われていて素晴らしいと思いました。

公平と平等のちがいを学び、すべての人に同じ機会や資源を提供する全員が同じスタートラインに立つのが平等で、個人それぞれのニーズや状況に応じて適切な資源やサポートを提供し全員が同じ結果を得られるように調整するのが公平と今まであまり意識したことがありませんでしたが、環境対策を無意識にトイレットペーパーをシングルにや洗たく物を室内に干して加湿とか貢献が少しでもできていたのかなと思います。

ありがとうございました。



## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

「SDGsを学ぶことで“SDGsの必要性”を理解していただくこと」という事が研修の目的であったが、「ナマケモノにもできるアクション・ガイド」を読みと常日頃から行っている事が多く、おかげで“SDGs”が必要であるという感じはしませんでした。今やっている事がSDGsなんだという理解ではいけないのでしょうか？ MDGsからSDGsの歴史的流れは分かりましたか？ MDGsの不足する部分がSDGsになったという感じは少なく、また項目増えているためSDGsにどのような理由で項目が増えたのかの説明があげられ良かったと思います。企業のSDGsに関係する立ち位置も企業が生き残るための戦略として、地球環境を良くしてゆきたいという理念がではなく、生き残るためにしなければならぬ、という事で順序が違うように感じました。SDGsの本質としてトランスフォーメーションがあげられていますが、変革がどの様に必要なのかも分かりませんでした。先に記したように企業が生き残るためにSDGs活動を行うという事とすれば、そこには変革は必要ではなく、ただ節約やセーブする事を通してSDGsを達成できるという事にならないでしょうか？ 変革がどこで必要になるのか分かりません。福祉の中の平等と公平は、意味と間違えると違った事になる事は分かりましたが、これがSDGsとどのように関連しているのか分かりませんでした。いずれにしてもSDGsというものが身近にせまていて考えるのが白ければならぬ事は良く分かりました。自分なりに考えてゆきたいと思いました。有難うございました。

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

SDGsについて受講して介護とどんな関係があるのかを学びました。

SDGsは知っていてもその前には、MGCSに関しては知りませんでした。

SDGsが始まり17の目標がありどれか私にできることからと思いスーパージでは

簡易包装のものを選んだり、今日使うものは期限が近いものを選んだり

エコバックを持っていったりして自分がすぐにできることをしました。

他にできることがないかSDGs宣言書に書きましたか肉や魚を控えめにし

(野菜あり食がよいので)肉の生産が植物よりも多くの資源が使われている

ことを今まで意識していなかったのだからこれからはリセットも含めて頑張ろうと思いました。

それと冬は寒いので暖かくなってきたら短時間のシャワーにも挑戦してみたいと思いました。

福祉の中では平等と公平は個々のニーズや状況に応じてサポートすることとか

大切だと学びました。

私は介護の仕事は初めてなのですが介護の現場で良かったこと

こころちゃんと気をつけること、嬉しかったことなどを教えていただけたら自信に

つながっていくと思うので教えてください。

今日はどうもありがとうございました。

実施日時 令和6年12月16日(月)

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

田村様

本日はお忙しい中 講義をしていただきまして  
ありがとうございます。

『SDGs』言葉で知っているだけだったのですが、  
本日の講義の5つの「P」で分けてみるや、アクション  
カートの説明で身近なものになりました。これからは  
日々の生活行動が SDGsの何につながっているのか、  
意識しながら生活してみようと思います。

また、『平等』と『公平』は 似て非なるものと  
学びました。

国の制作でも『平等なサービス』と『公平なサービス』で  
議論されることがあります。受け手の促し方にもよる  
ので 正しいか、否かは決められませんか。  
介護・福祉の場ではご利用者様の望まれるものを  
同じ結果とするなら『公平なサービス』でなければ  
ならないと思いますが、ご利用者様と介助されるご家族  
など立場により変わることもあるので、『公平』をベースに  
ケアをしていきます。

そして 学校での学びを忘れないためにも 時々  
振り返りを行うように心掛けてます。



## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

講義していただき、ありがとうございます。

今あらこちらで「SDGs」と言われるようになり、カラフルなマークや言葉を聞くこともありましたが、詳しく調べてみた事もなかったもので、とても勉強になりました。我々が日常生活する中の小さな事でも、1人1人が意識を持って行重かするだけで世界をかえていくことが出来ると思いました。

私の中では企業 = 働いて給料をもらう所というイメージしかなかったのですが、企業自体が「社会貢献」が「ミッション」になっていて、我々も働くことにより、SDGsの目標達成に貢献できていると思うと、ますます頑張っ働くぞという気持ちになりました。

これから目指す介護の世界にもSDGsは関係してくるとのことなので、頭の片すみにきちんと考えを持って意識した行動が出来るといいなと思います。

平等と公平は、同じ事だと思っていました。普段「平等じゃないね」と使っていた言葉はどちらかというと「公平じゃない」という方の使い方なんだと気付かされました。介護の世界は公平じゃなくしてはならない。長く働くと自分よがりになりやすい。このことはしっかりと頭に入れて、年に1回振り返れるようにしたいと思います。

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

今日の介護施設の脱炭素についての特別講座を受講して

今までSDGsについて脱炭素環境問題の話は聞いたことが

ありましたが、何故そこまで社会で言われ始めたのか、また、今まで

私が聞いていたのが、気候変動についてのものが多かったため

SDGs = 気候変動対策、と思っていました。時折気候変動以外の

話もあり、不明瞭のまゝ過ぎていましたが、今日の講義で分かりやすく

教えていただき、ようやく納得することができました。

自分でできる取り組みはして行きたいと思っています。

また、介護の職務をするにあたり、安易に“この人にはやらせたから、別の人にも”との

考えになさないうえ、気を付けたいと思っています。

最後に忙しくなると自分本位になりがちなのは、身に覚えがあり、身に付きました

思いました。教えていただいたことを書き留めておきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

実施日時 令和6年12月16日(月)

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

本日は有難うございました。「SDGs」の中身は今回初めて知りました。概要と背景もとても興味深かったです。《国連と日本の福祉の関係》も年表も覚えやすかったです。学ぶに直結するのは根拠を知る・理解しなければ頭に入らないのであ、改めて感じました。

「優先順位」によって法制定されている→「生活」「児童」「医療」「身体障害」これは覚え易く忘れにくいなと思いました。

MDGs → SDGs 今年かけて目標に向けて動いてきた事も知れませんでした。MDGsの8つの目標のうち5つは達成されたのもすごい努力の結果なのでしょう。「SDGs」はさらに17の目標があったなんて!! 覚えられないなと思っていましたが「5つのP」に分類してみたら漠然と17項目より入りやすくなりました。教員組合の青ま出しをしてみると、数項目は普通からできている事もあります。さらにSDGsを意識して行っていけるようにしたいです。まだ取りこんでいない事もこれからできるよう心掛けたいと思います。個人も企業も各自意識が大事ですね。

「平等と公平」こちらも深く意識していませんでした。

公平、公正を念頭に入れていたと思います。

「初心忘れず」からず、振り返りも必ずするようにします。

これから、未知の世界でのお仕事になりますね、不安でいっぱいです。

とにかく、精一杯頑張りたいと思います。

色々とお教えいただいた事、有難うございました。

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

今日は、貴重なお話大変勉強になりました。ありがとうございます  
いました。

「SDGs」については、子供の勉強に付き合っただけ勉強したこと  
もありましたが、難しく言葉を並べて勉強しただけだったので、よく分  
かっていませんでした。しかし今日田村さんのお話で私たちの生活の中  
にSDGsなことを知らず知らず"知らず"に、いつかやっ  
ていて、とても身近なことなんだなと感じました。

「SDGs宣言書」にいくつか自分持続可能な目標を書きました。ほんのさ  
さいな事ですが、SDGsの視点を持って考えてみたら、や  
ってることもあるけど、持続できていないことが多かったの  
で、時々思い出しやっていた、「マイバックやムダな電気を消す、エ  
アコンの温度は高すぎず低すぎず」を継続してやれるように心掛  
けていきたいと思えます。そんな小さな事でも世界のみんなが  
続ければみんなの平和、幸せにつながるんだと思えます。

また介護とSDGsもつながりがあり、平等と公平は別な考え方  
でした。みんな平等な支援ではなく、個々のニーズや状況に  
合った公平な支援が大事だと学びました。

また覚えやすい方法も教えて頂き勉強になりました。

自分が何が出来るか考えながら出来ることを努力していきたい  
と思えます。今日はありがとうございます。ありがとうございました。

## 特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

本日は御講話いただきありがとうございました。

講話をお聞きするまでは「SDGs」が介護とどうつながるのかわからなかったのですが、聞いてみると「SDGs」の考え方・取り組みが始まったのは世界の歴史に関係していて「第1次世界大戦」から始まり「第2次世界大戦」の終結によって世界平和のために「国際連盟」が発足。その教訓から「国際連合」が発足してその後生活保護法や児童福祉法・医療法・身体障害者福祉法が制定された。最初は大日本に対して「MDGs」が発足して2015年には世界中の誰一人として取り残さない事を目指し「SDGs」が発足して現在に行っている事を知りました。介護業界でもこれに関心があると思います。自分の事だけでなく利用者様と現場の仲間を大切にすることが「SDGs」的取り組みにつながり平和・充実感が生まれると教えていただきました。

介護の現場でも大量の紙が使えることからデジタル化する事によってペーパーレス効果を生み出す環境から経済効果までSDGsに貢献する取り組みをされている事。私達も日々の生活で身近な所からできる事から始めていきたいと思います。平等と公平のXリットとYリットに関してもちゃんと理解していただくようにして改めて図表を使って説明していただき良かったです。

福祉の中の平等と公平。これは介護にも「公平公正」でとらえたい事だと教えていただきました。

御礼は「らくある」と価値感が変わっていくとあるのと同じく初心に振り返る事が大切とお言葉をいただき心に留めておきたいと思いました。

本日はありがとうございました。